

# 社 会 科

<b>教科の目標</b>	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
--------------	--

## 評価規準

### 《地理的分野・歴史的分野》

評価の観点	評価規準	方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識を身につけている。</li> <li>・諸資料を的確に読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストの得点</li> <li>・授業中の発言や発表 など</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて、考察したことを分かりやすく説明したり表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストの得点</li> <li>・ノートやレポートの内容</li> <li>・授業中の発言や発表 など</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に参加する意欲や態度</li> <li>・ノートやプリントの内容</li> <li>・授業中の発言や発表 など</li> </ul>

## 使用教科書・副教材

<p>《地理的分野》</p> <p>新しい社会 地理 (東京書籍)</p> <p>中学校社会科地図 (帝国書院)</p> <p>《歴史的分野》</p> <p>新しい社会 歴史 (東京書籍)</p>	<p>《地理的分野》</p> <p>地理 用語ハンドブック (新学社)</p> <p>よくわかる社会の学習 地理Ⅰ (明治図書)</p> <p>《歴史的分野》</p> <p>歴史 用語ハンドブック (新学社)</p> <p>よくわかる社会の学習 歴史Ⅰ (明治図書)</p>
--	---

## 社会科学習へのアドバイス

<p>①毎日の授業をしっかりと聴く。</p> <p>授業のなかでテストに向けた大事なポイントを伝えています。それを聴き逃さないことが大切です。</p> <p>②自分の力に見合った復習時間を確保する。</p> <p>覚えることが苦手な人は、人の2倍、3倍やる。だめなら4倍、5倍やる。覚えるまで何度でも。『継続は力なり』です。</p>
--

【第1学年】 標準授業時数 105時間

	主な学習内容	主な学習のポイント
一 学 期	<p>&lt;地理&gt;</p> <p>世界の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球の姿を見てみよう</li> <li>● 地球儀と世界地図を比べてみよう</li> <li>● 地球上の位置をあらわろう</li> </ul> <p>世界各地の人々の生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雪と氷の中で暮らす人々</li> <li>● 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々</li> <li>● 温暖な土地に暮らす人々</li> </ul> <p>世界の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アジア州</li> <li>● ヨーロッパ州</li> <li>● アフリカ州</li> <li>● 北アメリカ州</li> <li>● 南アメリカ州</li> <li>● アセアニア州</li> </ul>	<p>・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。地球の姿を地球儀や地図を活用して学ぶ。</p> <p>・世界各地の人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けることを理解する。</p> <p>・世界の地域で見られる地球的課題の要因や影響を州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目してそれらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
二 学 期	<p>日本の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本の位置を調べよう</li> <li>● 日本と世界との時差をとらえよう</li> <li>● 日本の領域の特色を見てみよう</li> </ul> <p>世界から見た日本の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の地形</li> <li>● 日本の山地と海岸</li> <li>● 日本の川と平野</li> </ul> <p>&lt;歴史&gt;</p> <p>古代までの日本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人類の出現と進化</li> <li>● 古代文明のおこりと発展</li> </ul>	<p>・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。</p> <p>・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。</p> <p>・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。</p>
三 学 期	<p>古代までの日本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の古代文明と宗教のおこり</li> <li>● 日本列島の誕生との大陸の交流</li> <li>● 古代国家の歩みと東アジア世界</li> </ul> <p>中世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 武士の政権の成立</li> <li>● ユーラシアの動きと武士の政治の展開</li> </ul>	<p>・日本列島における農耕の広まりと生活の変化、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりを基に東アジア文化の影響を受けて我が国で国家が形成されたことを理解する。</p> <p>・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けて中世の社会の変化を多面的・多角的に考察する。</p>